

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成 29 年 4 月 20 日

計画の名称	3 小倉都心及び黒崎副都心と周辺市街地を結ぶ交通ネットワーク確保のための道づくり		
計画の期間	平成21年度～平成26年度(6年間)	交付団体	北九州市
計画の目標			

小倉都心及び黒崎副都心と周辺市街地との連絡強化により、活気にあふれた小倉都心地区・黒崎副都心地区の創出と渋滞による遅延のない人・物の移動を確保する道路ネットワークの形成を図る。

計画の成果目標（アウトカム指標）

新若戸道路や戸畑大谷線（尾倉ランプ）、3号線などの要素事業の整備で体系的な道路ネットワークが形成されることにより、小倉都心及び黒崎副都心へのアクセスを強化することで、人・物の移動が遅延なく行われ、市民生活が向上することが期待される。

アウトカム指標の定義及び算定式		アウトカム指標の現況値及び目標値			備考					
		当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H26末)						
北九州市小倉エリア及び黒崎エリアの幹線道路における1kmあたり走行時間費用の削減率										
小倉都心（JR小倉駅）及び黒崎副都心（JR黒崎駅）へ15分で到達が可能となるカバー人口の増加量(率)										
走行時間費用の削減。北九州市小倉エリア及び黒崎エリアの幹線道路における1kmあたり走行時間費用を削減する。 (1kmあたり走行時間費用の削減率) = {1 - (事業後走行時間費用) / (事業前走行時間費用)}		80.4千万円/年・km	78.0千万円/年・km (3.0%)	77.8千万円/年・km (3.2%)						
小倉都心及び黒崎副都心への15分アクセスカバー人口の拡大。 (15分アクセスカバー人口) = { (事業後の15分アクセスカバー人口) - (事業前の15分アクセスカバー人口) }		35.2万人	36.9万人 (4.8%)	36.9万人 (4.8%)						
全体事業費(実施)	合計 (A+B+C)	22,769百万円	A	22,736百万円	B	百万円	C	33百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.1%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
【実施体制】 北九州市建設局道路部道路計画課が事後評価を実施	平成28年度
【評価値の確認方法】 学識経験者に意見聴取を実施 (九州共立大学経済学部成富教授、九州工業大学工学部寺町准教授)	公表の方法 北九州市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業														全体事業費 (百万円)		継続/完了	進捗状況		備考					
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接	事業主体	道路種別	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						計画		実施	着手済/全体	進捗度		
												H21	H22	H23	H24	H25	H26							
3-A1	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	砂津長浜線(長浜工区)	0.3km	北九州市						7,384	6,685	継続	24/28	86%			
3-A2	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	日明渡船場線	3.9km	北九州市						544	1,534	継続					
3-A3	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	9号線(熊谷工区)	1.4km	北九州市						280	228	完了					
3-A4	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	新若戸道路	2.3km	北九州市						1,152	1,152	完了					
3-A5	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	城野駅南口線(城野駅地区)	0.3km	北九州市						2,363	2,167	完了					
3-A6	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	3号線	2.1km	北九州市						2,035	1,427	継続			H25よりP2		
3-A7	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	中央町穴生線	2.0km	北九州市						1,648	922	継続			H25よりP2		
3-A8	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	前田熊手線	3.3km	北九州市						120	50	完了					
3-A9	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	戸畑大谷線(尾倉ランプ)	1.1km	北九州市						1,088	1,078	完了					
3-A10	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	7号線(城野工区)	0.3km	北九州市						60	60	完了					
3-A11	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	引野永犬丸線	1.4km	北九州市						13	13	完了					
3-A12	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	臨港1号線	0.9km	北九州市						500	345	継続					
3-A13	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	9号線(高野工区)	2.0km	北九州市						2,805	1,711	継続			H25よりP2		
3-A15	街路	一般	北九州市	間接	組合	再開発	改築	0.55	小倉駅南口東地区	0.6ha	北九州市						1,772	0	—			他事業により継続		
3-A16	街路	一般	北九州市	間接	組合	再開発	改築	0.55	西小倉駅前第一地区	0.5ha	北九州市						90	75	完了					
3-A17	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	7号線(富士見工区)	0.5km	北九州市						630	254	継続			H25よりP2		
3-A18	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	香月駅線	0.8km	北九州市						490	100	継続			H25よりP2		
3-A20	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	南北公共連絡通路(城野駅地区)	0.1km	北九州市						1,200	1,311	完了					
3-A21	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	汐井町牧山海岸線	0.5km	北九州市						370	0	継続			H25よりP2		
3-A22	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	12号線(浅川水巻)	0.3km	北九州市						170	0	継続			H25よりP2		
3-A23	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	下曾根駅前線	0.4km	北九州市						355	713	継続					
3-A24	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	曾根町田線(下曾根駅北口駅前広場)	0.4km	北九州市						401	289	継続					
3-A27	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	モノレール耐震化等対策(都)5号線外)	耐震化・長寿命化対策 L=4.0km	北九州市						1,100	700	継続			H26よりP6		
3-A28	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	日明渡船場線(日明工区)	L=0.8km 橋梁1橋	北九州市						400	141	継続			H25よりP2		
3-A29	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	日明渡船場線(中井工区)	1.9km	北九州市						400	9	継続			H25よりP2		
3-A30	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	3号線(祝町工区)	L=0.1km 橋梁1橋	北九州市						300	150	継続			H25よりP2		
3-A31	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	飛行場南線(中曾根工区)	L=0.8km JR立体交差 1橋	北九州市						300	0	継続			H25よりP2		
3-A33	街路	一般	北九州市	直接		S街路	改築	0.55	砂津長浜線(砂津工区)	0.6km	北九州市						2,584	1,624	継続					
												合計						30,554	22,736					

B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業主体	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)		備考
											H21	H22	H23	H24	H25	H26	計画	実施	
合計																0			

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業主体	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)		備考
											H21	H22	H23	H24	H25	H26	計画	実施	
3-C1	事業評価	一般	北九州市	直接		事業評価	0.55	中間・事後評価公表資料の作成	中間・事後評価時に各1回	北九州市							10	0	
3-C2	施設整備	一般	北九州市	直接		案内板設置	0.55	公共交通機関案内板の設置	49箇所(黒崎副都心地区ほか)	北九州市							98	16	H24地域自主戦略交付金
3-C3	施設整備	一般	北九州市	直接		駅前広場出入口新設	0.55	駅前広場出入口新設(東田地区)	1箇所(スペースワールド駅前広場整備)	北九州市							15	15	
3-C4	社会実験	一般	北九州市	直接		レンタサイクル社会実験	0.55	レンタサイクル社会実験(黒崎副都心地区)	1箇所	北九州市							3	2	
3-C5	景観整備	一般	北九州市	直接		都市景観	0.55	西小倉駅前第一地区	街灯・植栽・車止め等(L-62m)	北九州市							30	0	
合計																156	33		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

「新若戸道路」整備による体系的な道路ネットワーク形成と小倉都心へのアクセス強化に伴い、若松地区における小倉都心への15分アクセスカバー人口が増加、「9号線(熊谷工区)」整備においても小倉都心へのアクセス向上が図られ、人・物の移動が円滑に行われ、市民生活の向上が図られている。
また、「中央町穴生線」整備により、黒崎副都心への15分アクセスカバー人口が増加しており、周辺市街地から黒崎副都心へのアクセス強化が図られている。
市内各地での幹線道路整備により、小倉都心及び黒崎副都心と周辺市街地を結ぶ交通ネットワークが形成されており、走行費用の削減にも繋がっている。

II 定量的指標の達成状況		指標①(北九州市小倉エリア及び黒崎エリアの幹線道路における1kmあたり走行時間費用の削減)	最終目標値	77.8千万円/年・km (3.2%)	目標値と実績値に差が出た要因	計画した効果が発揮されており、着実に走行費用の削減が図られている。
			最終実績値	77.8千万円/年・km (3.2%)		
		指標②(小倉都心及び黒崎副都心への15分アクセスカバー人口の拡大)	最終目標値	36.9万人 (4.8%)	目標値と実績値に差が出た要因	新若戸道路等の整備により、15分アクセスカバー圏域が拡大し、目標値以上の結果となった。
			最終実績値	37.7万人 (7.0%)		
			最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
			最終実績値			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

「新若戸道路」は若松区と戸畑区間の洞海湾を横断する新たな道路として整備したもので、新若戸道路整備前は、洞海湾を横断する道路は若戸大橋のみとボトルネック状態であったことから、市街地からの一般交通と臨海部からの産業関連交通が合流し、慢性的な渋滞が発生していた。
「新若戸道路」整備に伴い、「若戸大橋の交通渋滞の緩和」をはじめとして、「臨海部からの移動距離・移動時間の大幅な短縮」、「一般交通と産業交通の分離」、「市街地における貨物車や大型車の流入が減少」、「通行止めリスクの減少」と、産業活動や市民生活などの様々な面において効果が発現している。

3. 特記事項(今後の方針等)

「新若戸道路」等の整備により小倉都心及び黒崎副都心へのアクセスが強化され、着実に市民生活は向上しているが、砂津長浜線等の道路ネットワークの形成や回遊性、街の魅力を向上させるための事業の多くが継続となっている。これらの事業については、次期整備計画の中で事業進捗を高め、小倉都心及び黒崎副都心の更なる発展・魅力・回遊性等の向上を図ってきたい。

社会資本整備総合計画 参考図面

計画の名称	3 小倉都心及び黒崎副都心と周辺市街地を結ぶ交通ネットワーク確保のための道づくり	
計画の期間	平成21年度～平成26年度(6年間)	交付団体 北九州市

